



小川小学校

HP:<http://ogawa-e.murakami.ed.jp>

小川小日記



朝日の地だからこそ

校長 佐久間 義久

先日、某会主催の「朝日地域懇談会」に参加し、「朝日の課題解決に向けてできること」をテーマに話し合いました。日頃から熱心に地域の活動をされる皆さんが集まったので、話し合いは大いに盛り上がりました。結論は出ませんが、私たち一人一人が①朝日の素晴らしさを、地域の子供や若い人たちに伝える努力をすること、②大切だと思う活動に人が集うように旗を振り続けること等の意見があり、強く印象に残りました。



朝日の自然が豊かだということは誰もが納得するところですが、何より直接体験できる自然が多いことは、朝日の素晴らしさの一つです。先日のことです。移動性高気圧で春のような陽気になった日の翌日は、見事な『凍みわたり』日和でした。田んぼの上をどんどん進んでみると、校舎がみるみる小さくなります。用水の溝だけ気にすればどこまでも行ける、まさに宮沢賢治の『雪わたり』^{かた ゆき}「堅雪かんこ凍み雪しんこ」でした。これも先日の1年生教室でのことです。生



活科のお店屋さんになって楽しむ活動で、『果物屋さん』に行ってみるとなんと『あけび(絵)』が並んでいました。思わず驚いて声を上げると「あけびですよ」と。もはや「あけび」を知らない子供が多いかも、と思える時代に、さすが朝日の子と思える瞬間でした。かつて長津小学校に勤務した知人は、長津川でカジカ採りをしたこと、学校近くでどっさりワラビを採ったことを自慢します。別の知人は、二子島でのカヌーが楽しいことをしきりに話します。アユを釣る皆さんの竿自慢もよく耳にします。清流三面川がすぐそこにある朝日ならではの。どれも印象深い話です。朝日の地だからこそできる豊かな直接体験の数々です。

学力観の一つである『生きる力』は、「自ら判断し行動する能力、豊かな人間性や健康・体力のこと」を指します。これらは、豊かな直接体験をしてこそ得られる力です。『朝日の地だからこそ、生きる力を身に着けられる』そんな小川小学校でありたいと思います。

令年度も、どんぐりの会の皆さんから心を育てていただきました。図書ボランティアの皆さんから図書室環境を豊かにしていただきました。地域の皆さんから支えていただいています。ありがとうございました。



2学期の保護者アンケートの結果

1 2月に行った保護者アンケートの結果をお伝えします。
(1学期における結果と比較しています。)

項 目				よくできている	できている	あまりできていない	できていない
知 育	1	漢字や計算等、基本的な学習内容を理解している。	1学期	33%	51%	8%	8%
			2学期	35%	60%	5%	0%
	2	先生や友達の話をしっかり聞くことができる。	1学期	22%	62%	16%	0%
			2学期	31%	66%	3%	0%
	3	学年×10分以上の家庭学習の習慣が身に付いている。	1学期	43%	35%	8%	14%
			2学期	40%	29%	24%	7%

- 項目1では、肯定的評価が、**1学期84%から2学期95%**と高くなりました。これからは「村上市の授業づくり」に基づく丁寧な学習指導 に努めてまいります。
- 項目2では、肯定的評価が、**1学期84%から2学期97%**と高くなりました。人の話を聞くことはとても重要な学習態度です。今後も励ましてまいります。



徳 育	4	家庭や地域で進んであいさつをしている。	1学期	27%	57%	11%	5%
			2学期	29%	62%	7%	2%
	5	人や動植物にやさしく接するなど、思いやりの心が育っている。	1学期	38%	60%	2%	0%
			2学期	53%	47%	0%	0%
	6	家庭で自分や友達のよいところや自慢できることを話している。	1学期	24%	65%	8%	3%
			2学期	36%	53%	11%	0%
	7	友達にいやなことをしたり、悪口をいったりしない。	1学期	40%	60%	0%	0%
			2学期	42%	53%	5%	0%

- 項目6では、肯定的評価が、**1学期86%から2学期89%**とわずかながら高くなっています。自慢について話せるということは、自己肯定感の高まりと密接です。これからは学級と家庭の同軸で褒め励ましていけたらと思っています。



体 育	8	進んで外遊びをしている。	1学期	19%	49%	24%	8%
			2学期	22%	40%	27%	11%
	9	寝る時刻を守って生活している。	1学期	24%	46%	30%	0%
			2学期	29%	35%	24%	12%
	10	きまりや時間を守って、テレビやビデオを見たり、ゲームやパソコン、携帯などを使ったりしている。	1学期	19%	38%	35%	8%
			2学期	15%	40%	36%	9%

○ 項目9では、肯定的評価が、**1学期70%**から**2学期64%**へと低くなりました。睡眠量の確保は何より大切なので学校でも「寝る時刻を守って生活しよう。」を話しています。ご家庭でも規則正しい生活の声掛けをお願いします



学 校 に つ い て	11	教育方針や活動の様子をしっかりと伝えている。 (学校説明会、保護者会、たより、ホームページ 等)	1学期	6%	86%	8%	0%
			2学期	31%	54%	12%	3%
	12	保護者や地域の人々と協力しながら教育活動を行っている。	1学期	8%	89%	3%	0%
			2学期	23%	67%	10%	0%
	13	保護者の相談や要望、連絡に対して適切に対応している。	1学期	6%	78%	16%	0%
			2学期	54%	40%	6%	0%

○ 項目13では、肯定的評価が1学期、86%で2学期は94%と8%も多くなり、取組に対し肯定的に捉えていただいていることに感謝申し上げます。今後も相談や要望、連絡に対して、迅速で丁寧な対応に心掛けてまいります。

その他 (○→ご意見 ・→対応等)

○ いつも子どものことをよく見てくださり、学校での様子や親にもわからなかった一面などを教えてください、とても感謝しています。これからもよろしくお願いいたします。

○ 太鼓の件ですが、太鼓、とつとことかのメインしてる子たちを一年交代にして皆さんに活躍する場を作ってほしいです。子供達もみんなやればできると思います。

- ・ どの子どもも大きな可能性をもっています。そのため練習を促し、オーディションに参加するように働きかけています。代表決定後は、本番に向けてのさらなる自主的な練習を重ね本番を迎えています。そのこともぜひともご理解くださるようお願いいたします。

○ 来年は、マラソン大会もしてほしいです。

- ・ シャトルランはマラソン同様、持久走的な種目であるとともに、持久走が得意な人もそうでない人も自らの力にチャレンジできる種目です。そのことから一本化しました。

お寄せいただいたご意見、ご感想に関して、職員で共通理解を図り、来年度以降の教育活動に活かしていきます。アンケートへのご協力、大変ありがとうございました。

中学年・高学年の「スキー教室」を実施しました

1月29日に5～6年生、31日に3～4年生が、ぶどうスキー場でスキー教室を実施しました。両日とも天気やコースのコンディションは良好で、インストラクターやボランティアの皆様丁寧に教えていただき、とても楽しいスキー教室になりました。経験の有無にかかわらず、1日のうちにかなり上達を感じられるほど上手になりました。「楽しかった」と満足気に話す子どもたちもたくさんいました。みんな楽しい思い出をつくって帰ることができました。ご指導ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。



なかよし班で盛り上がった「なわとびフェスティバル」

1月30日に、今年も「なわとびフェスティバル」が開催されました。なかよし班の10班をA～Eの5チームに分け、跳んだ回数を競いました。大会当日まで休み時間には上級生が下級生の世話をしながら、練習に励みました。どの班も練習を重ねるにつれて記録を伸ばし、1年生も大変上手に跳べるようになりました。大会では最高記録を出した班が多かったです。これからも班のメンバーで助けあい、仲良く交流を深めてもらいたいです。

なお、記録は、ブログ「小川小日記」をご覧ください。



6年生 平和学習～原爆の体験談を聞きました～

1月27日に市教育委員会が主催の平和学習事業として、6年生が「原爆の体験談」を聞きました。小学校4年生の時に広島市の爆心から4kmほどの小学校に通っていて、実際に原爆が落ちてくるのを見たという本間文紀子様（村上市在住）を講師に迎え、約50分にわたり、在りし日の体験を話していただきました。どのような光景だったのか、辺りの物や人の様子はどうか、など記憶を辿ってお話ししてくださいました。子どもたちは真剣なまなざしで静かに話を聞いていました。子どもたちには感想には「命の大切さがわかった」「自分だけでなく、周りの人のことも考えられる人になりたい」など、平和を願う言葉が多く書いてありました。そのような気持ちを忘れない大人になってもらいたいです。



自分だけでなく、周りの人のことも考えられる人になりたい」など、平和を願う言葉が多く書いてありました。そのような気持ちを忘れない大人になってもらいたいです。